

Governor's Monthly Letter

6月



1992 Jun.30
NO.13

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2660

1991-'92年度 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K・サプー 国際ロータリー理事 藏 並 定 男
各クラブ会長並びに幹事殿

1ヶ年の任期を 終えて

ガバナー 菅生 若三

昨年の7月1日の年度開始以来、クラブの公式訪問、IGF、地区大会、各種地区委員会とクラブ委員長会、各種奉仕関係その他の諸行事に明け暮れておりますうちに、あっと言う間に一年の任期が過ぎて了りました。

思えば、この1年は正に激動の1年でした。歴史的必然の経過として、人間性の回復を意図しながら却ってその一般的抑圧に等しい状況を結果していた社会主義体制を否定することにより、米ソ二極対立構造の解消が進行するに伴い、世界の政治経済の枠組の根本的な変貌が現実化し、世界の各地において、体制の再編や民族の独立に伴う紛議、新しい経済秩序への模索、開発と環境の調整など、困難な国際問題が次々と続発し、私どもの平和への課題の認識も、従来の体制間の武装平和や体制内の限定平和の観念から、大きく変革を迫られて参りました。また、快適社会を求める私どもの本能と直結してとどまるところを知らない科学技術の開発や、外面的画一的なマクロな社会管理の進行と、ソフトとハードの両面に互る人的物的社会的諸要素の広域的国際的な流通の進展に伴い、私どもは、人間の知能や競争本能の本格的なコントロールから社会意識のあるべき姿の再検討に至るまで、色々な新しい課題への対応に追わ

れて参っております。サービスの理念という人間社会普遍の真理を掲げ、限定や仮定のない真の国際間の理解と親善と平和の推進を提唱して参りましたロータリーの出番の時代が、遂に到来したということをごさいます。

私は、このような新しい価値観を目指した幕開けの時代に、地区におけるロータリーのお仕事を仰せつかりました身の幸せを、まず皆様に感謝申し上げたいと存じます。そして、本年度の国際ロータリーのテーマ「自分を越えた眼を」を体し、ロータリーの活性化のため色々なお願いを申し上げましたところ、諮問委員会の諸先輩のご懇切なご指導と、地区内の全ロータリー・クラブとロータリアンの皆様の暖かいご理解ご協力を頂くことができましたことを、幾重にも感謝申し上げたいと存じます。また、地区委員や地区幹事の皆様、それにホストクラブの大阪北ロータリークラブの皆様の絶大なご支援と、事務所職員の皆様の献身的なご尽力に、心からお礼を申し上げたいと存じます。

最後に、今度も引き続き地区の皆様方と相共に手を携え、気持ちも新たに新しい時代のロータリー活動に努めて参りますことをお誓いして、任を終えるに当たりましたのご挨拶とさせていただきます。